生鮮食品の原産地表示状況調査結果

北海道環境生活部くらし安全局消費生活課

1 調査方法

（1） 調 査 期 間　令和7年（2025年）5月1日～6月30日
（2） 調　査　者　消費生活モニター
（3） 対 象 品 目　生鮮食品（肉類、野菜・果物、水産物）
（4） 対 象 店 舗　百貨店、総合スーパー（スーパーのうち衣食住全般の商品を扱う店）、
スーパー（主に食料品のみを扱う店）、専門店（生鮮食品を専門に扱う店）
（5） 調査店舗数　肉類／115店舗、野菜・果物／115店舗、水産物／115店舗
（6） 調 査 内 容　原産地表示の程度

2 調査結果

（1） 原産地の表示状況

【 肉 類 】

調査を行った115店舗のうち、販売している肉類の全部に原産地を表示している店舗の割合は82．6%（95店舗）、ほとんどに表示している店舗は16．5%（19店舗）、半分程度に表示している店舗は0．9%（1店舗）であった。

【 野菜・果物 】

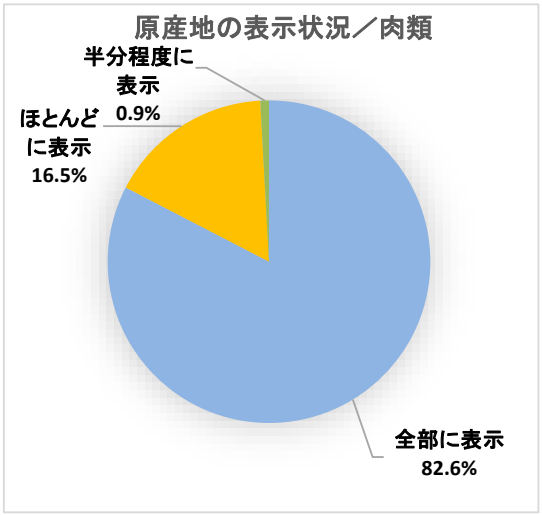
調査を行った115店舗のうち、販売している野菜・果物の全部に原産地を表示している店舗の割合は80．0%（92店舗）、ほとんどに表示している店舗は19．1%（22店舗）、半分程度に表示している店舗は0．9%（1店舗）であった。

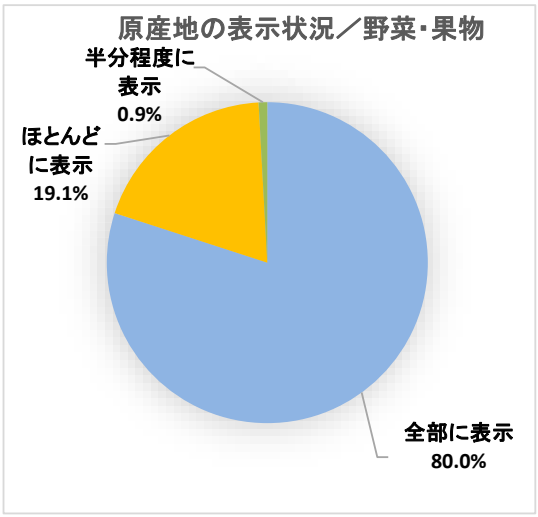
【 水産物 】

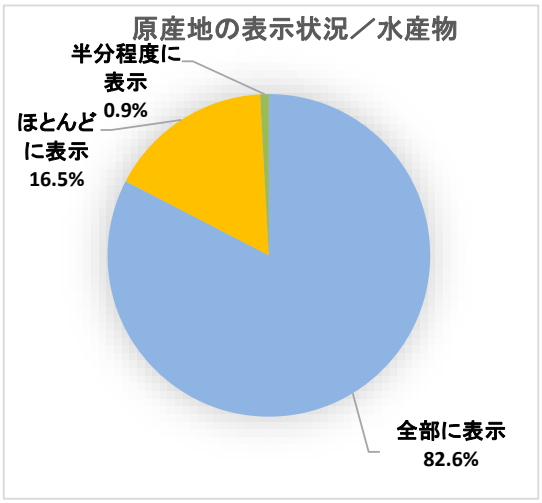
調査を行った115店舗のうち、販売している水産物の全部に原産地を表示している店舗の割合は82．6%（95店舗）、ほとんどに表示している店舗は16．5%（19店舗）、半分程度に表示している店舗は0．9%（1店舗）であった。

表示の程度	肉類		野菜・果物		水産物	
	店舗数	割合	店舗数	割合	店舗数	割合
全部に表示(100%)	95	82.6%	92	80.0%	95	82.6%
ほとんどに表示(80～99%)	19	16.5%	22	19.1%	19	16.5%
半分程度に表示(40～79%)	1	0.9%	1	0.9%	1	0.9%
一部に表示(1～39%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
表示がない(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	115	100.0%	115	100.0%	115	100.0%

※　本調査結果の割合は、全て四捨五入して表示しています。







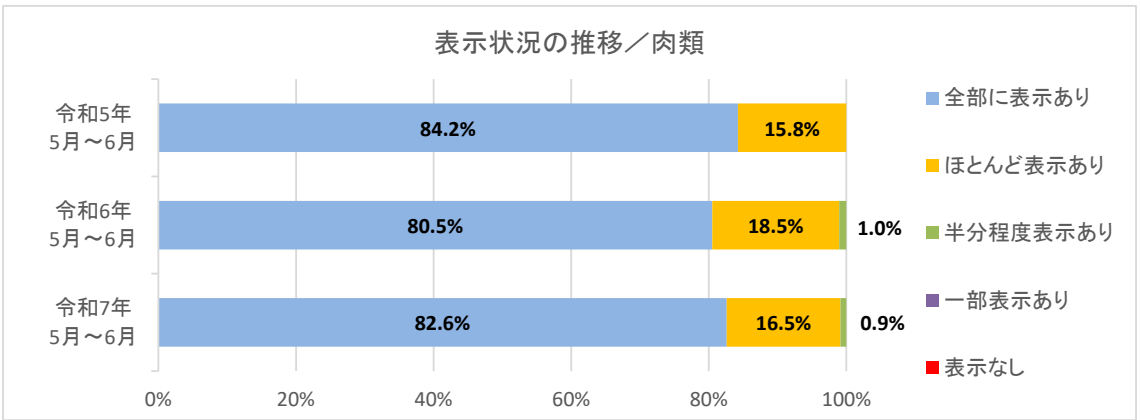
（2） 表示状況の推移（直近3カ年）

【 肉 類 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は80．5%→82．6%と2．1ポイント増加し、「ほとんどに表示」は18．5%→16．5%と2．0ポイント減少し、「半分程度に表示」は1．0%→0．9%と0．1ポイント減少した。

表示の程度が8割以上（「全部に表示」または「ほとんどに表示」）の店舗は99．0%→99．1%と0．1ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部に表示」または「表示がない」）の店舗は0．0%のままであった。

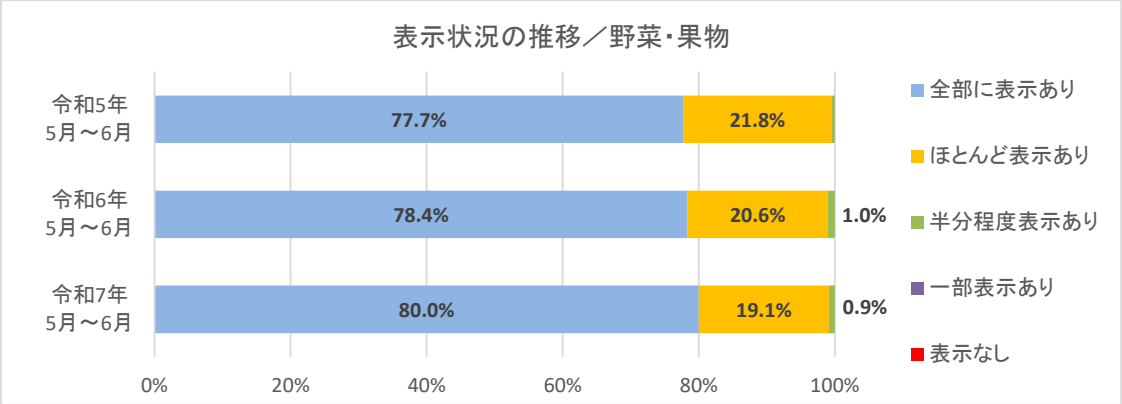


【　野菜・果物　】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は78．4%→80．0%と1．6ポイント増加し、「ほとんどに表示」は20．6%→19．1%と1．5ポイント減少し、「半分程度に表示」は1．0%→0．9%と0．1ポイント減少した。

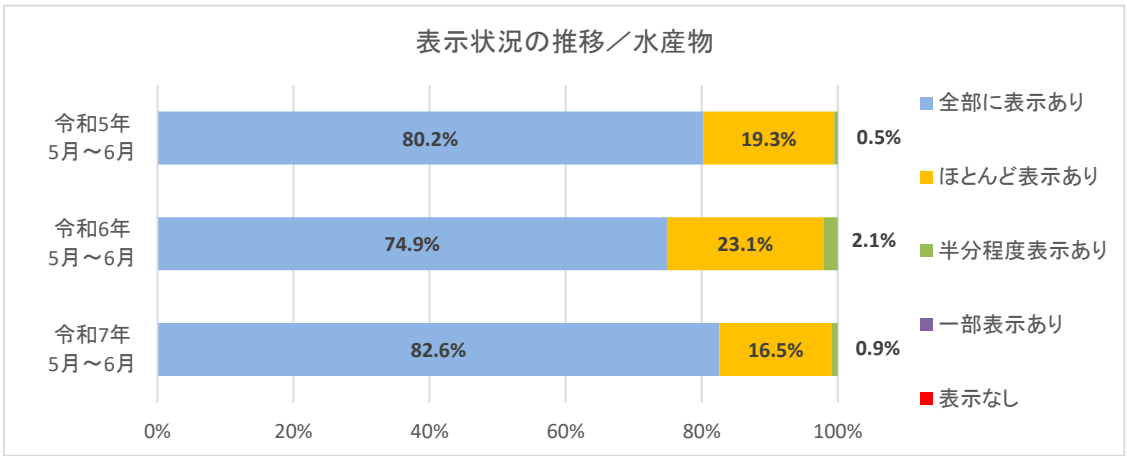
表示の程度が8割以上（「全部に表示」または「ほとんどに表示」）の店舗は99．0%→99．1%と0．1ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部に表示」または「表示がない」）の店舗は0．0%のままであった。



【　水産物　】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示」は74．9%→82．6%と7．7ポイント増加し、「ほとんどに表示」が23．1%→16．5%と6．6ポイント減少し、「半分程度に表示」は2．1%→0．9%と1．2ポイント減少した。

表示の程度が8割以上（「全部に表示」または「ほとんどに表示」）の店舗は98．0%→99．1%と1．1ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部に表示」または「表示がない」）の店舗は0．0%のままであった。